

Q. 育休取得はいつ行いましたか?

—子どもが2人いますが、2人ともとりました。1人目は年末年始に重なる時期で、冬休みのような感じで2週間。2人目の時は育休前にコロナ感染があってトータル1ヶ月くらいの休みになりました。どちらも、妻が自宅に帰ってくるタイミングで取得しました。育休の期間は個人個人で違うと思います。2人目の時は家に上の子もいたので、大変さが違いました。

Q. 育休取得の相談のしやすさはいかがでしたか?

—育児参加に理解がある方が多いのでスムーズでした。妻の妊娠を上司へ報告したタイミングで、「生まれたら育休はどうする?」と自然に聞いてくれました。当たり前ですが育休も視野に入れてくださっていたというか。リハ科は比較的推奨してくれる方が多いんじゃないかな。ギリギリで悩んで相談するというよりも、声をかけてもらえたから自分は大変さを全然感じませんでした。法人でも、世の中でも、男性の育休についてすごく啓発が進んできたのはいいことだと思います。

Q. 実際に育休を取得してみて、良かったところや大変だったことを教えてください。

—育児「休暇」とはいうけど、自分の時間では休み、という感じはなかったですね。育児は仕事みたいなものだって妻も言っていました。人によっては、「あー、仕事していた方が楽だな」と感じる人もいるかもしれない(笑)。2人目の時は特に、上の子もいてやるが多かったですね。でも、ネガティブなものだとは思いませんでした!理想をいえば、産まれたての時期と少し落ち着いてからと期間を分けられたり、期間が長かったらな、と感じました。妻も、もっと居てほしいと思っていたかもしれません。でも、多少なりとも「仕事を休んでいる」という感覚と、育休中の給与支給が減ることも影響はしていたように思います。気にせずスッパリと休める人もいるかもしれないけど、自分はそういう風に感じていました。リモートワークができる仕事ではないし、実際に現場で人を相手にする仕事だからなおさらですね。

Q. お休みに入る前に、業務の引継ぎや準備などは大変でしたか?

—2人目の育休をとるときには、コロナ療養からそのまま休みに入ったので少し大変でした。でも、周りが育休に入ることを知っていたのでそこまで大きなトラブルはなかったです。チームの協力があつたからですね。休みに入る時期から逆算して担当患者さんの数を減らしてもらったり、業務を調整したりと。リハ科はあつたかいですね。上司の考え方・法人の子育て支援という点からも、育休の入りやすさはスムーズだったと思います。

Q. 当法人では女性が育休から復帰する際、研修や慣らし勤務などがあります。男性の育休復帰のサポート体制について教えてください。また、復帰した時に感じたことなどはありますか?

—女性の復帰プログラムに比べると、男性の方は期間も体の変化も少ないからか、復帰に関するプログラムは特になかったです。患者さんに対するリハビリ業務も、不安なく戻ってくることができました。自分は脳血管チームにいて、理学療法士だけでなく作業療法士・言語聴覚士とグループでひとりの患者さんをみることも多いのですぐに情報を得ることもできました。2人目の育休から復帰した時はコロナ禍真っ最中で、戻ってきたときにはゾーニングや患者対応のルールが変わっていたのが一番大変でした。戻ってきたら、防護具をつけてリハビリが当たり前になっていたりして。体力を落とさずに復帰できたので幸いでした。

Q. 産休・育休の取得に悩んでいる方や興味を持っている方へ一言お願いします!

—リハ科は育休取得を後押ししてくれていますし、スタッフ内でも否定的な人は少ないと思います。取りたいと思えば周りがフォローしてくれるし、安心して取りたいと言っていいと思います。「お互いさま」なので。そして男性陣は特に、今後の穏やかな家庭のためにというのはなんですが(笑)育休期間を利用して奥さんの大変さを知るべき!星総合病院は働きやすい環境ですし、その時しかない時間を大切に思う方は迷わず伝えてみるといいと思います。